

43号

平成28年

12月1日

発行

市民と議会を結ぶ広報紙



あさひ議会だより

発行／旭市議会 編集／議会だより編集委員会 〒289-2595 旭市二の1920 ☎0479-62-5304 FAX0479-62-5384 <http://www.city.asahi.lg.jp/>

おもな内容

主な議案の内容と質疑	2～5
第3回定例会の日程	3
決算の審査	6～8
一般質問	9～14
常任委員会の審査	15
審議結果一覧	16

旭市産業まつり

今年から統合された旭市産業まつりが、海上コミュニティ運動公園で開催されました。

地元の農産物・特産品など、実りの秋がそろった会場は、多くの来場者でにぎわいました。

介護ロボット導入・畜産農家支援に補助など

補正予算額14億4,200万円を可決、

平成28年度旭市一般会計予算総額

306億1,400万円

第3回定例会のあらまし

平成28年第3回定例会が、9月1日から9月23日までの23日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成27年度各会計決算や、平成28年度一般会計補正予算、財産の取得など14議案が市長より提出され、原案のとおり、認定・可決・同意されました。

なお、一般質問では、11人の議員が登壇し市政全般にわたって議論が展開されました。

主な議案の内容と質疑

決算

(平成27年度)

▼議案第1号

平成27年度旭市一般会計決算の認定について

歳入総額314億4,578万7千円、歳出総額は286億3,807万5千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源3億4,

175万6千円を差し引いた実質収支は、24億6,595万6千円となりました。

問 実質収支額24億6,595万6千円は非常に大きな金額と思うのですが、どのように考えているのか。

答 東日本大震災以降、大規模な事業が継続している中で、

(林晴道議員)

事業の進捗の遅れや繰越事業の多さなどもあり、実質収支額は、決算規模から見るとやや大きくなっていると思います。

問 総務事務費の弁護士等委託料は市の顧問弁護士料だと思えますが、消防にも弁護士等委託料があります。なぜ別々に

弁護士委託料を予算化するのか。

(高橋利彦議員)

答 各課の通常業務で法律的判断が必要になる場合に相談を行うということで総務課で予算化しています。消防については和解処理の交渉でしたので、別途消防で予算化したということです。

問 行政改革推進費の公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料ですが、職員ではできないのか。

(高橋利彦議員)

答 市が保有する全ての公共施設の老朽化や利用状況の把握、今後の人口の見通し、維持管理・修繕等の中長期的な経費見込みの推計を調査・分析して、施設類型ごとの管理に関する方針等を計画するものです。委託については、短時間で作成しなければならぬことから、専門技術者がいる民間の事業者を活用したところです。



第3回定例会の日程

9月1日(木) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上げ
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

9月5日(月)

- 議案の質疑

◇追加日程

<討論・採決>

- 決算審査特別委員会設置・委員の選任
- 決算審査特別委員会へ議案を付託
- 決算審査特別委員会委員長及び副委員長の当選結果報告

9月7日(水)

- 市政に関する一般質問

9月8日(木)

- 市政に関する一般質問

9月9日(金)

- 市政に関する一般質問

9月12日(月)

- 決算審査特別委員会

9月13日(火)

- 決算審査特別委員会

9月15日(木)

- 建設経済常任委員会

9月16日(金)

- 文教福祉常任委員会

9月20日(火)

- 総務常任委員会

9月23日(金)

- 決算審査特別委員長の議案報告
<質疑・討論・採決>
- 常任委員長の議案報告
<質疑・討論・採決>
- 事務報告

(閉会)



昨年度購入したトラック

問 普通財産管理費の備品購入費について、どのような車を何台購入したのか。なぜリースにしないのか。

(高橋利彦議員)

答 購入は乗用車が1台とダンブやトラックの3台です。

長い期間使うことが想定されたので、リースではなくて購入を選択したものです。

問 小学校教材備品等購入事業について、小・中学校の図書購入費の交付税算入額は。また交付税どおりの予算を費やしているのか。そして、図書数は文科省の基準と照らし合わせてどうなっているか。

(高橋利彦議員)

答 交付税算定されている措置額は664万8千円です。

これを基にした決算額の割合は90・2%です。市内小学校の学校図書館標準達成率は小学校15校のうち、100%以上が8校、90%以上が2校、80%以上が5校となっています。

▼議案第2号

平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
事業勘定は、歳入総額108億6,692万6,870円、歳



矢指小学校の図書室

出総額8,291万1,776円で、差し引き458万8,558円となり、財政調整基金へ230万円を積み立て、残額228万8,558円は繰越金とするものです。

問 なぜ収入未済額が9億4千万円ほどあるのか。

(高橋利彦議員)

答 国民健康保険税は、生活困窮者、低所得者が多く、また修正申告等を行うと、さかのぼって国保税が賦課され、納める時に収入がないというケースもあります。

▼議案第3号

平成27年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
歳入総額5億1,724万6,158円、歳出総額5億131万1,270円、差し引き1,5

93万4,888円となりました。

▼議案第4号

平成27年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について

歳入総額46億5,819万37円、歳出総額45億8,657万542円、差し引き7,161万9,495円となりました。



▼議案第5号

平成27年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について

歳入総額6億4,391万5,359円、歳出総額5億5,907万6,485円、差し引き8,483万8,874円となりました。

問 下水道接続率向上のため、使用料などを含め、どのような検討をしているのか。また、繰入金削減の検討は。

(高橋利彦議員)

答 戸別訪問をさせていただき普及促進のお願いをしているところ。また、長寿命化計画の策定や、施設の適切な管理で経費の削減に努め、なるべく繰入金を削減できるよう努力したいと考えています。



24時間対応の浄化センター監視室

▼議案第6号
平成27年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
歳入総額5,535万2,360円、歳出総額4,990万4,319円、実質収支額は544万8千円となりました。

▼議案第7号

平成27年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

年度末の給水人口は、5万7,910人、普及率は85・9%、年間給水量は575万5,582立方メートルとなりました。

決算額については、収益的収支において、事業収益は16億441万3,687円、事業費用は14億504万5,720円となりました。

また、資本的収支は、収入9,147万5,880円、支出は1億6,124万7,571円となり収支不足額6,977万1,691円は減債積立金等で補填



民間委託している旭市水道お客様センター

しました。

なお、27年度末の未処分利益剰余金は20億1,579万450円であり、6,293万4,685円を減債積立金に、1億3,180万円を建設改良積立金にそれぞれ積み立て、残りを繰越金とするものです。

▼議案第8号

平成27年度旭市病院事業会計決算の認定について

入院患者数及び入所者数は年間延べ35万7,475人、外来患者数及び通所者数は年間延べ66万9,599人となりました。

決算額については、収益的収支において、事業収益は359億5,897万1,130円、事業費用は353億1,201万1,253円となりました。

また、資本的収支は、収入1億9,618万8千円、支出は40億9,974万9,240円となり、収支不足額39億356万1,240円は、27年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

問 経費で、医師確保対策をなぜ2つに分けるのか。そして、これによってどれだけ医師が増えたのか。

(高橋利彦議員)

答 項目上は業務委託費でも計上しています。平成27年度で獲得できた医師は、6名になります。

問 医業費用の給与費ですが、前年比6億6千万円も上がっている要因は。

(高橋利彦議員)

答 主な原因は、医師が増員したことによる給与の増、標準報酬制度改正に伴って法定福利費が増額となったことによるもの、看護師の夜間看護業務手当の拡充を行った影響、給与のプラス改定があったことによるものです。



地方独立行政法人となった旭中央病院

補正予算

(平成28年度)

▼議案第9号

平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について

歳入歳出にそれぞれ14億4,200万円を追加し、予算の総額を306億1,400万円とするものです。

歳入の主なものは、留保していた繰越金の一部を今回の補正財源として計上するものです。

歳出の主なものは、決算の確定に伴い財政調整基金へ13億円、介護ロボット等導入支援事業に176万2千円、畜産競争力強化対策整備事業に8,830万2千円を計上するものです。

問 介護ロボット導入に補助は初めてのことだと思います。

介護ロボットとはどのようなものか、また、どのような介護支援ができるのか。

(米本弥一郎議員)

答 介護ロボットは、日常生活支援における移動、移乗、

排せつ、見守り、入浴支援において、介護従事者の負担軽減に効果があるもので、従来の機器ではできなかった優位性を発揮するもの、経済産業省が行う口

ボット介護機器開発導入促進事業において国が採択したものとなっています。



条例の制定・一部改正

▼議案第10号

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について

海上キャンプ場のバンガロー・体育館使用料について、

近隣施設、市内公共施設に合わせ、料金を改正するものです。

問 海上キャンプ場の昨年度の利用人数と収入額、改定後の見込額は。

(林晴道議員)

答 昨年度は、キャンプ場4,079人、体育館1万2,618人の利用がありました。

収入額は、キャンプ場が171万7,050円、体育館が32万

2,400円でした。改定後はバンガローが36万円余りの増、体育館は10万円強の収入増と考えています。

問 同じ体育館でも、総合体育館と海上では、利便性も中の設備も違います。逆に不平等では。

(高橋利彦議員)

答 各施設とも、もともと一般の方の料金体系は、それぞれ違ってきます。今回、高校生以下の料金を一般の利用料金の半額に改正するものです。

人事

▼議案第14号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
熱田 みち子氏 米込 再任

報告

▼報告第1号

平成27年度旭市奨学基金の運用

状況について

▼報告第2号

平成27年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況について

▼報告第3号

平成27年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について

▼報告第4号

平成27年度の旭市公営企業決算における資金不足比率について

▼報告第5号

株式会社季楽里あさひの事業経営状況について



8月に来場者100万人を突破した季楽里あさひ

▼報告第6号

私債権等の放棄について

決算の審査

決算審査特別委員会を設置 平成27年度の執行状況をチエツク

決算審査特別委員会が設置され、委員9名の選出とともに委員長に景山岩三郎議員、副委員長に伊藤保議員が選出されました。

決算審査には、市執行部からは副市長、教育長ほか関係職員が出席し、平成27年度一般会計決算をはじめとした8議案について慎重な審議が行われました。

審査の結果、7議案は全員賛成で認定、1議案は全員賛成で可決及び認定するものと決して本会議に報告されました。

審査の項目は多岐にわたりましたので、その一部として主な審査内容を紹介します。



主な質疑内容

▼議案第1号

平成27年度旭市一般会計決算の認定について

問 新庁舎建設事業で、庁舎設計委託料の具体的な事業内容は。

答 窓口執務環境現況調査、職員に対するアンケート調査、公園の変更業務にかかる資料作成、確定測量の関係です。



老朽化と耐震不足が問題となっている本庁舎

問 広報あさひについて、新聞折り込みで手元まで届けられない方は、どうするのか。

答 申し込みいただければ、郵送で送付させていただきます。

また、本庁舎、各支所、中央病院、JR旭駅にも、広報を配置させていただきます。

問 こども発達センター運営事業の委託料について、施設の目的、委託先と委託内容は。

答 こども発達センターは海上支所東側にある建物で、発達に心配のある子どもに日常生活における基本的な動作の指導、集団生活等への適応訓練を提供する事業を、ロザリオの聖母会に委託しています。

問 検診の受診率が低いと感じます。受診率の向上に取り

答 組んでいただきたいが、27年度からインターネットで申し込み方法も加え、26



海上地区にある旭市こども発達センター

年度と比較し2,257人の申込者が増加しています。広報、ホームページでPRして、今後も受診率向上に頑張っていきたいと思っています。

問 母子保健事業について、乳幼児の健診の対象者数と実施割合は。また、受診されない方への対応は。

答 乳児健康診査が対象者509人、実施率は94・5%。

1歳6か月健診は対象者485人、実施率98・4%。3歳児健康診査が対象者541人、実施率が97%です。2歳児歯科健康診査が対象者480人、実施率95・6%です。

未受診者には再通知、なおかつ訪問も実施しています。それでも会えなければ、保育所と連携をとり、状況を把握しています。

問 制度資金利子補給事業2,184万5,212円の具体的な内容及び件数は。

答 市から市内金融機関6行に立て、その10倍の融資をお願いしています。資金の1つとしては、設備資金や運転資金となっています。平成27年度の貸付実績は281件です。

問 旭中央病院アクセス道整備事業について、用地購入費や補償金などの支出があります。が、工事はいつから開始されるのか。



「あさひ中央橋」へ続く旭中央病院アクセス道

答 仁玉川の工事を9月に契約する予定です。用地買収がある程度まとまれば、できるだけ工事に組みたいと考えています。

問 耐震改修促進計画は32年に95%目標となっていると思いますが、来年度に向けてどうなのか。

答 毎年、建築事務所協会にご協力いただき、耐震の相談

会を開催しています。相談にえられる件数が非常に限られている状況ですが、耐震相談に来られた方に、できるだけ耐震化、地震についての認識を持っていただくよう進めていきたいと考えています。

問 消防施設整備事業の防火水槽は蓋化工事63万8,340円について、本市の防火水槽は何か所あり、そのうち今回の工事で何か所を行ったのか。また、その耐用年数は。

答 本市の防火水槽は、平成28年4月1日現在、合計525か所あります。平成27年度は15か所の工事を行いました。耐用年数は、設置場所の環境にもよりますが、おおむね10年程度だと思っています。

問 教諭補助員について当市は充実していると思います。この中で、こういった方が補助員についていらっしゃるのか、資格等について伺います。

答 教員免許状を持っている者を採用しています。ただし、英語は、ある一定以上の実力を持っている者については、3名のうち1名は教員免許状を持つていなくても、今は採用して指導に当たっているところです。

問 大原幽学記念館の入館料の総額を伺います。あれだけの施設と貴重な資料がありますので、宣伝等を行って、今後入館者数を増やす考えや取り組みは。

答 入館料は、60万2,550円の収入があったところで

入館者数を増やすような方策については、大原幽学に関する企画展の実施、独自の教育普及事業、また、ホームページや広報等で周知をしながら利用促進を図っていききたいと考えています。

▼議案第2号
平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
問 人間ドック委託料3,585万1,890円の利用状況について、性別の内訳は。

答 平成27年度の短期人間ドックの利用状況は、合計で706件です。性別で男性が418人、女性が288人です。

問 国民健康保険には短期証や資格者証といった制度があると思いますが、旭市ではどのくらいの方が利用されているのか。

答 今年の6月現在で一般証が87・7%です。6か月証が4・53%です。3か月証が5・63%です。資格証が2・14%となっています。

▼議案第4号
平成27年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について

問 配食サービス事業委託料1,171万3,500円の内容は。

答 利用人数が198人になり、配食数は1万5,618食です。事業所は2事業所あり、延べ243日稼働して、1日平均が64・3食です。

問 家族介護用品給付事業のうち、紙おむつの給付の現状について実態は。

答 支給人員は401人で、紙おむつと尿とり用のパット等を支給しています。

問 住宅改修費助成金の利用件数は。

答 住宅改修は、申請件数が27件、限度額18万円で、合計361万8千円となります。

▼議案第5号
平成27年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について

問 処理区域面積が27年度で3・8ヘクタール多くなっています。これは新田地区と思いますが、新たにこの地区から接続した世帯は何件あるのか。

答 新規に供用を開始した区域で12世帯が加入していたということです。

▼議案第6号

平成27年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

問 農業集落排水事業は、接続世帯が前年度から6世帯増加となりました。しかし、3割近くが接続されていない状況です。接続が伸びない理由と、その対策について伺います。

答 現在使っている浄化槽やくみ取り式のトイレがあるという状況です。下水道を使用していますし、地元地区の皆様にも推進していただいているところです。



琴田地区にある農業集落排水処理施設

▼議案第7号

平成27年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

問 利益は今後の管路等の改修費用に充てるということを説明いただいています。今後の改修の具体的な計画と改修予定の金額を教えてください。

答 現行の水道ビジョンは、平成23年から平成32年までの10年というところで計画されています。この中で配水池の更新、電装・機械関係で約13億1,400万円。管路の更新・新設に15億3千万円、合わせて28億4,400万円ほど予定しているところです。



工事が進む海上配水池

▼議案第8号

平成27年度旭市病院事業会計決算の認定について

問 看護師養成事業収益が予算に対して増加しています。また、養護老人ホーム事業収益も同様に増加しています。この増加の要因は。

答 看護師養成事業収益が増額となった理由は、負担金交付金が増額になったことによるものです。

老人ホームは入所者の方が年間延べで833人増えています。1日当たり実人員で2名増えたことによる収益の増加です。

問 中央病院は地域経済に大変大きな波及効果があり、工事や物品調達、雇用、面等、非常に地元大きく貢献されています。独立行政法人になってもその点について変わりはないのか。

答 地元への貢献についても、可能な限り地元優先という考え方に基づいて発注をしていきたいと思っています。

問 企業債償還金は補正予算を組んでかなり増額しましたが、実際には予算比の半分くらいしか使えていません。これはマイナス金利の影響か。

答 補正予算では企業債の繰上償還を2本予定していましたが、マイナス金利等を導入されたということで、最終的に2本のうち1本を取りやめたという結果になっています。

問 旭中央病院は地方独立行政法人になりましたが、同規模の病院と比べると福利厚生、医師・看護師確保は大変ではないかと思っていました。地方独立行政法人になり、変わった部分があれば伺います。

答 初年度ということもあり、明確にこの項目を増やしたといったものではありません。ただ、職員の福利厚生関係の意見を吸い上げる場を拡充して設けています。その意見を聞いた中



平成27年春に整備された医師マンション

で次年度以降反映させていきたいということで取り組んでいるところです。

決算審査特別委員会の構成

決算審査特別委員会委員は、各常任委員会(総務・文教福祉・建設経済)から3名ずつ選出された9名で構成されています。

委員長	景山岩三郎(文教福祉)
副委員長	伊藤 保(総務)
委員	伊藤 房代(文教福祉)
	宮澤 芳雄(建設経済)
	飯嶋 正利(建設経済)
	磯本 繁(建設経済)
	米本弥一郎(総務)
	高橋 秀典(総務)
	林 晴道(文教福祉)

一般質問



市政に関する一般質問は9月7・8・9日の3日間行われ、11人の議員が登壇しました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

震災復興

補助金の増額期間は

(宮内保議員)

問

各種復興関係のイベントには、市内はもちろん、

市外、県外からも多くの来訪者がいます。イベントを実施する場合、復興分の増額補助金は実行委員会にとっては大きな財源

です。災害復興基金を充当していると聞いていますが、いつまで増額していくのか。

答

千葉県から交付された「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金を原資として、支援を行っている状況です。この基金は、平成32年度をもって終了するとされており、旭市七夕市民まつり、いいおかYOU・遊フェスティバル、あさひ砂の彫刻美術展などの主要なイベントについては、引き続き平成32年度まで支援していく考えです。

文化財の保護を

(宮内保議員)

問

東日本大震災において、歴史的な建造物などにも被害が及んだと聞いています。貴重な文化財を守り、保護していくためには莫大な経費が必要であり、文化財の所有者や地域だけでは非常に困難な状況にあると思います。市としての考え方や施策について伺います。

答

文化財の保護については、文化財所有者や継承団体へ支援を行いながら、地域への愛着が深まるよう取り組んでい

きたいと考えています。

国指定文化財は、市が国の補助事業を活用しながら、県指定文化財は所有者等が県の補助事業を活用しながら、市指定文化財は所有者等が市の文化財修理復旧事業補助金を活用しながら、それぞれ保護、保存に努めています。

道の駅季楽里あさひ

早期の情報開示を

(滑川公英議員)

問

道の駅の経営について、株主総会が終わりながら、

28年度の事業計画が策定されていませんでした。道の駅は、個人企業ならともかく、旭市が7割出資する公営に近い企業です。ビジネスは生き物なので、決算報告、次期事業計画等は6月議会で情報開示すべきだと思いますが、今後の方針は。

答

議会への報告は、会社が行う初めての決算ということもあり、決算書の作成や事業計画、予算について慎重に進めた結果、9月議会に提出というところで、株主取締役会で決定

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



宮内 保
議員

- 1 東日本大震災の復旧・復興について
- 2 文化財について
- 3 農業委員の改選について



滑川 公英
議員

- 1 来年度予算について
- 2 ごみ処理施設について



伊藤 房代
議員

- 1 投票所について
- 2 介護保険の申請について
- 3 認知症対策について
- 4 ママさんバレーに対する支援について

させていただきました。来年度は、事業経営状況を6月議会に報告できるよう準備したいと考えています。

重点道の駅の 選定理由は

(高橋秀典議員)

問

オープン1周年を待たずして来客100万人を突破し、売上げも好調ということ。今年1月には国土交通省により重点道の駅に選定されたわけですが、選定された理由とメリットをお伺いします。

答

季楽里あさひは、産業振興及び市内への移住等促



10月に開業1周年を迎えた季楽里あさひ

環境

進策として道の駅を活用した新ブランド創出、交流・連携として医食農同様の振興、情報発信機能強化といった計画が認められ、重点道の駅に選定されたものです。

重点道の駅の選定を受けたことにより、国やマスコミ関係からも先進例として優先的にコマリシャルをしていただけるということになるかと思えます。

トイレの一括管理を

(伊藤保議員)

問

旭市では条例で定めた公衆トイレは何か所あるのか。また、公園のトイレは幾つあるか伺います。これは一括管理できないものなのか。

答

公衆トイレは条例で定めた1か所を含め、現在10か所をそれぞれの担当課で管理している状況です。

公園のトイレは、都市整備課が12公園で15か所、商工観光課が3公園で7か所、体育振興課が3公園で3か所、農水産課が5公園で6か所を管理しています。



条例で定めた西宮公園の公衆トイレ

す。

一括管理については難しい部分がありますが、市民からの要望や意見等を一括してどこかの課で受け入れる方法は、今後考えていきたいと思えます。

ごみステーション 設置の対応は

(磯本繁議員)

問

ごみステーションを設置するにあたり、10世帯集まらない場合や通り抜けができない場所もあると思いますが、その場合どのように対応するのか。

答

ごみステーションを設置する場合には、おおむね



伊藤 保
議員

- 1 防災について
- 2 生活、環境について
- 3 公園について
- 4 子育て支援事業について



高橋 秀典
議員

- 1 夏期観光について
- 2 道の駅について
- 3 情報発信について
- 4 インバウンド観光について



林 晴道
議員

- 1 選挙について
- 2 職員の人材育成について
- 3 公共事業について
- 4 観光事業について



高橋 利彦
議員

- 1 中央病院について
- 2 英語教育実施状況調査について

10世帯以上が利用することを原則としますが、地域の諸事情等を考慮し、柔軟な対応をしたいと思っています。

また、通り抜けできない場所は、ごみ収集を安全に行う観点から、収集車が切り返しでなく、安全に転回できる場所があれば認められると思っています。

広域ごみ処理施設の 地元貢献策は

(滑川公英議員)



旭市クリーンセンター

問

銚子市を計画地とする広域ごみ処理施設について、

地域に迷惑料として20年にわたる約3億円近くが支払われるという議題が、東総地区広域市町村圏事務組合に提案されています。旭市と匝瑳市の今のごみ焼却場の跡地に造ると言われている中継基地の周りにも迷惑料を支払うとの説明は、旭市、匝瑳市が支払うとの説明に変わりしました。同じ迷惑施設なのに、組合で支払うのは銚子地区だけだそうです。整合性があるのか。

答

東総地区広域市町村圏事務組合が、現在地元住民の皆様と地元貢献策について協議中ということです。新しい中継施設の建物についても、これから地元と協議をしていくという段階です。

選挙

投票所を元の数に

問

前回の参議院選挙から比べると、千葉県で一番投票率が下がったのは旭市で、県下でワースト2位になってしま

(伊藤房代議員)

いました。やはり投票所の数が減ったことが、大きな影響ではないかと感じます。ぜひとも投票所の数を19か所から元の36か所に戻すことはできないか。

答

統合した所でない投票区についての相当下がっている状況を見ますと、統合だけが下がった原因ではないと感じているところです。隣の匝瑳市、香取市と比較しても、今回の投票区統合が面積的に非常に大きなものになったとは考えていませんので、19か所でいかせていただければと思っています。

福祉

介護保険の支援を受けけるには

問

現在、旭市の65歳以上の人口は1万8,793人います。そのうち要介護・要支援を受けている人は2,887人です。しかし、介護を受けたくても、申し込み方法が分からない人が多いのではないかと思います。地域ごとに説明会を開いてはどうでしょうか。

(伊藤房代議員)

答

支援が必要と思われる方の早期発見に向け、高齢者世帯への訪問調査、民生委員等との連携による見守り活動、高齢者見守りネットワーク事業を行っており、ご自分またはご家族で申請ができない方は、地域包括支援センターの職員が、申請の代行を行っています。

地域ごとの説明会については、過去にも集会所で予防教室等を開催していますが、今後はさらに各種サービスに関する相談も含めて、内容の充実を図っていききたいと思います。

生活保護費の 使い方は

(磯本繁議員)

問

生活保護費の中には、生活扶助費のほか医療、教育、住宅、介護などさまざまな扶助費があるとのことですが、これらが正しい使い方をされているのか、市はどのような指導を行っているのか。

答

生活保護費は、保護を必要とする者に対し、それぞれの扶助の目的に応じて支給されるもので、必要とする目的達成のために使われることが当

- 3 業務について
- 4 行政改革について
- 5 財政について



有田 恵子
議員

- 1 あさひ砂の彫刻美術展について
- 2 旭市役所南分館(賃貸物件)について
- 3 市長の手紙について
- 4 市の職員によるパソコン操作について
- 5 飯岡中学校校舎外構工事について



太田 将範
議員

- 1 小規模企業振興基本条例について
- 2 店舗リニューアル助成について
- 3 住宅リフォーム助成について
- 4 TPP環太平洋経済連携協定について
- 5 一般廃棄物処理について

然のことです。

日常生活に充てられる扶助費は生活扶助費で、これは個人に委ねるものであり、保護費の支給後に市が使い方を積極的に把握しているものではありません。

ただし、家賃や給食費などに充てられる使い道を限定された住宅扶助あるいは教育扶助を一般の生活費や、ほかのことで使ってしまうケースがありまして、市で適格な使途について指導することになります。



ハニカムで遊ぶ子ども達

子育て支援の内容は

(伊藤保護員)

問

旭市は子育て支援についてよい評価を聞きますが、子ども・子育て支援事業計画の中には、雨の日に遊べる場所がない、児童館など親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しいというようなアンケートが非常に多く寄せられ、今後旭市でも必要ではないのかなと感じますが、その辺の考えは。

答

今後児童の利用に限定した新たな施設を整備するというのは、将来的な維持管理を考えると大変難しいと思われます。公民館や図書館などについて、もっと児童が利用しやすいできないか、あるいはその他の既存の施設をうまく活用できないかなどについて検討したいと思います。

地域活性化

飯岡灯台周辺を

恋人の聖地に登録を

(林晴道議員)

問

「恋人の聖地」はNPO法人地域活性化支援センターが主催するプロジェクトで、自然に囲まれた場所、夜景のきれいな場所、記念品が作れる場所などが選定されたデートスポットです。そこで本市にあ



刑部岬から見る九十九里浜

答

飯岡灯台周辺は景観もよく、展望館があるなど、「恋人の聖地」にふさわしい場所であると思うので登録に向けて取り組むべきと考えますが。

問

これは若者への対策が重要になると思います。若

恋人の聖地登録に 若者の参画意識を

(林晴道議員)

る地域です。「恋人の聖地」として登録、PRすれば若者も増えることが予想されます。既に認定されたスポットの状況などを調査・研究して、旭市観光物産協会と協議しながら、どのような取り組みができるのか、考えていきたいと思っています。



磯本 繁
議員

- 1 ごみ問題について
- 2 生活保護について



宮澤 芳雄
議員

- 1 防犯カメラについて
- 2 奨学金について
- 3 交流事業について
- 4 ケブカトラカミキリ対策について

者の忌憚のない意見や発想の収集が大切で、それらを若者自身に取り組んでもらい、行政はその手伝いをする程度がよいと考えます。

市長や議長をはじめ、この議場の多くの方も一度は大切な方と飯岡灯台に行かれたことがあろうかと思いますが、登録に向けて取り組みや整備を行い、いま一度足を運んでいただき、青春を感じ取ってください。

答

情熱あふれる若い層を代表した考え方を述べていただき、本当に参考になった次第です。刑部岬は、灯台から見る夜景や富士山など、大事な観光スポットでありますので、そういったものを活用していきたい。私も家族で何回も行ってありますので、今度は2人で、じいさんとはあさんということで行ってみたいと思います。

農産物のPRを

問

（宮澤芳雄議員）
幽学の里で米作り交流では、5月の田植えの後、旭市内でイチゴ狩りをしてお帰りになるそうです。しかし9月の稲刈りでは、終了後直ちにお



交流事業で餅つき体験をする子ども達

帰りになってしまふ。せっかくの機会、旭市を訪れてくれた子どもたちに、市内の農産物等をPRし、何らかの体験を通じて、ぜひとも農産物をお持ち帰りいただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

答

（宮澤芳雄議員）
市内はもとより、市川市、東京方面から延べ1,000人以上の参加をいただき、国指定遺跡の大原幽学ゆかりの水田を活用して、交流を図っています。農水産物のPRは、交流事業を進める上で重要なものと考えて、可能な限り昼食時等を利用して、市内生産者による旬の野菜

等の農産物や性学^{せいがく}もちなどの加工品の販売を行っています。

また、お帰りの際は、道の駅季楽里あさひにも立ち寄っていただくよう、案内させていただきます。

※性学^{せいがく}もちとは

江戸時代末期に大原幽学が伝えたとされ、うるち米を使用した伝統郷土食。

情報発信

シティプロモーションを

問

（高橋秀典議員）
県外あるいは国外に向けて旭市をPRしていくためには、定住促進や観光PR、企業誘致などのシティプロモーションに特化したホームページが必要と思われます。PRすべき政策は広範にわたるため、効果的に推進していくためには、庁内に横断的なプロジェクトのようなものが必要ではないか。

答

（高橋秀典議員）
シティプロモーションは、観光情報のほか、住環境や勤労、雇用の面、子育てや医療、介護など福祉の面などの政

策等も含めて情報を発信することが重要であると考えています。

政策等が広範にわたるため、横断的な推進体制が不可欠になると想定されますので、体制づくりを含めて検討していく必要があると考えています。

行政改革

なぜ随行が必要なのか

問

（高橋利彦議員）
行政改革を進め職員の削減をしている中で、市長の随行で、課長級の職員が同行しています。今は携帯電話もある、また行事の招待であれば招待側が対応してくれます。そして、市内の会議であれば担当課なども出席するのに、なぜ随行が必要なのか。

答

（高橋利彦議員）
私のまちづくりの基本姿勢は、全ての機関と信頼関係を構築し、旭市の地名度をアップしていきたいとの思いで、市長職を務めてきたところです。一人だけでは遠くへ行った場合、いろいろ気を使わなければならない部分があり、私も後期高齢

者に近いので補助的な部分で随行が必要だと認識しているところですので、ご理解をいただきたいと思います。

南分館をなぜ借りて

問

（有田恵子議員）
南分館は子育て支援センターが2階に入っています。騒音、振動があり、エレベーターがないような物件を借り続ける理由は。

答

（有田恵子議員）
南分館については、事務室や会議室が本庁で不



子育て支援課がある南分館

足していましたので、近い場所に借り受けることとしたもので、今現在も継続しています。市役所から利便性としてもいい場所ので有効に使えているということで、金額も不動産鑑定をやった中で決めているということでご理解をいただければと思います。

契約

軽微な工事とした理由は

(有田恵子議員)

問

飯岡中学校校舎外構工事について、湧水対策としてのウエルポイント工事を議会に議案を出す前に終わってどうするのか。軽微な工事ではありませんか。議案を議会に提出して承認を得てから工事をするべきでないか。

答

ウエルポイント工事は、工事を完成させるために必要な工事ですが、軽微かどうかについては、あくまでもガイドラインで判断をするものです。構造物の仕様や内容、位置も変わっていないということで軽微

なものとは判断しました。ウエルポイント工事が終わった後に数値が確定したので、設計変更額をまとめて変更契約をさせてもらったということですが。

道路

住民要望に
どう対応するのか

(高橋利彦議員)

問

市民の生活に欠かすことのできない道路などのインフラ整備について、市民の要望をかなえるには、現時点で17年の長い年月がかかるということですが、道路の資産244億円、耐用年数48年、単純に割りますと毎年5億円ずつ工事をしたいかなければならない中で、どう対応するのか。

答

27年度の道路維持費は、2億5,861万円です。予算編成の中で、道路についての要望がたくさんあることは承知しています。緊急度や必要度で、今やらなければいけないことを見きわめながら、予算編成の中で進めていきたいと思います。



一部開通した津波避難道路横根三川線

商工業振興

小規模企業振興
基本条例の制定を

(太田将範議員)

問

全ての自治体で小規模企業振興基本条例を制定するという義務が課せられている。その中には、市民の義務あるいは自治体の義務、県の義務、国の義務という形で全て網羅されています。準備状況についてどのような検討が行われているのか。

答

旭市総合戦略においては、商工業の中長期的発展のために地域住民が商店街等を求める機能に対応した取り組みを

し、関連機関と連携して各種制度の周知、相談等の充実に努めるとしています。

条例の制定については、今後とも近隣自治体の情報収集を行うとともに、商工会や市内金融機関と連携して、中小企業の発展における具体的な振興施策が策定できるよう、引き続き研究させていただきます。

店舗リニューアル
助成の考えは

(太田将範議員)

問

店舗リニューアル助成は、比較的新しい制度であり、群馬県あたりでかなり地方経済、商店街の振興にも役立っています。この制度と事業の実施について、これからどう考えていくのか。

答

旭市では現在、店舗等のリニューアルの補助制度はない状況です。経済効果も期待できますが、市の歳出も増えるというリスクもあり、慎重に検討していく必要があります。

まずは、既存の旭市中小企業資金融資の活用を進めていき、併せて、国の制度である小規模事業者持続化補助金などの紹介

も商工会等と連携を図って積極的に行い、商業の振興に努めたいと考えています。

防犯

防犯カメラの設置を

(宮澤芳雄議員)

問

いつの時代でも不審者などによる被害に遭うのは、ほとんどが高齢者と子どもたちです。防犯カメラが小学校3校、中学校2校に設置されていますが、残りの15校の学校内にも設置が考えられているのか。

答

児童・生徒の安全・安心な環境確保は、大変重要なことであると認識しており、現在大規模改造工事を行っている第一中学校にも設置します。今後、防犯カメラ未設置の学校にも、計画的に設置を進めていきたいと考えています。



校舎に設置されている防犯カメラ

常任委員会の審査

建設経済常任委員会

9月15日(木) 午前10時～
1議案の審査

飯岡海上連絡道を視察する建設経済常任委員



議案第9号
平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

畜産競争力強化対策整備事業は、前回の定例会でも補正予算が組まれていたが、今回の補助事業2件について、承認された理由とその事業内容は？

答

国から2次要望の募集があり、採択されたもので、家畜排せつ物処理施設2基の導入及び次年度に建設する肥育施設的设计並びに肥育舎3棟の建設事業に対し、事業費の2分の1以内の補助金を交付するものである。

審査の結果

委員会付託の1議案について、全員賛成で、原案のとおり可決

委員会の審査終了後、飯岡海上連絡道三川蛇園線を視察

文教福祉常任委員会

9月16日(金) 午前10時～
3議案の審査

東庄町児童館を視察する文教福祉常任委員



議案第9号
平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

介護ロボット等導入支援事業について、介護人材が不足している中、今後もロボットを普及させていくのか、またロボット導入後の操作方法の習得など、運用面のサポートはどのようなになっているのか？

答

国・県の補助金等を活用し、その範囲内で推進していきたい。
ロボット等の操作については、その開発企業が介護事業所を回り、説明会を開催するなど、サポートに努めている。

審査の結果

委員会付託の3議案について、全員賛成で、原案のとおり可決

委員会の審査終了後、嚶鳴小、東庄町児童館を視察

総務常任委員会

9月20日(火) 午前10時～
3議案の審査

海匠地域防災備蓄倉庫を視察する総務常任委員



議案第9号
平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

財政調整基金の残高は、予算規模に対して大きく、事業が適正に行われていないのでは？

答

残高は86億円余りとなっている。予定した事業は全て執行しており、結果として予算より歳入額が大きく、基金を多く積んでいる状況にある。

議案第11号
財産の取得について(消防ポンプ自動車 1台)
消防団車両の更新について、その基準と今後の整備計画は？

答

17、18年経過した車両を計画的に更新しており、来年度もポンプ車1台、小型積載車3台を予定している。

審査の結果

議案第9号は賛成多数、その他の2議案は全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決

委員会の審査終了後、海上支所、嚶鳴小防災井戸及び海匠地域防災備蓄倉庫等を視察

平成28年第3回定例会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
			林 晴道	高橋 秀典	米本 弥一郎	有田 恵子	宮内 保	磯本 繁	飯嶋 正利	宮澤 芳雄	太田 将範	伊藤 保	島田 和雄	平野 忠作	伊藤 房代	林 七巳	向後 悦世	景山 岩三郎	滑川 公英	木内 欽市	佐久間 茂樹	林 俊介	高橋 利彦	林 正一郎
市長提出議案																								
1	平成27年度旭市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	平成27年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	平成27年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	平成27年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	平成27年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	平成27年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	平成27年度旭市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	財産の取得について (消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	財産の取得について (小型動力ポンプ付積載車 3台)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	和解及び損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

詳しくは議会事務局へ
☎ 62・5304
FAX 62・5384

第4回定例会が12月2日(金)から行われます。
議会開会中は、議会を傍聴することが出来ます。希望される方は、市役所3階までおいでください。
なお、市役所本庁と各支所ロビー、千湯公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子が放映しています。
また、市ホームページでは議会ライブ中継及び議事録の公開をしています。
さらに、議会録画中継(本会議も日程終了後のおおむね7日程度で視聴することが出来ますので、ぜひご利用ください。

議会を
傍聴
しませんか

旭市議会だより編集委員会

委員長 高橋 秀典
副委員長 宮内 保
委員 米本 弥一郎
委員 林 晴道

こんには、議会だよりをご覧頂きありがとうございます。
いまだ地方の景気も低迷する中、皆さんの暮らしはいかがですか？ 今後、本市の財政は厳しくなる事が予想されますので、事業計画や財政状況をしっかりと見極め、守るもの・攻めるもの・我慢するものなど、メリハリのある取り組みを行います。
責任世代として、これからの担い手である若者から、これまで長年社会に貢献して頂いたお年寄りまでに、優しいまちづくりを致します。そのため、皆さんのご意見やご要望をお寄せください。
(委員・林 晴道)

編集後記